

大泉町教育委員会議録

1 日 時 令和2年9月24日（木）午後1時25分から午後2時15分まで

2 出席者

柴崎教育長、高倉委員、福田委員、秩父委員、大塚委員

3 出席職員

大澤教育部長、千吉良教育管理課長、竹田教育指導課長、金井こども課長、
村田生涯学習課長、齊藤書記

4 傍聴人

なし

5 議事、協議及び報告事項

議案第31号 大泉町教育委員会事務局職員の人事について

教育長報告 (1) 令和2年第4回大泉町議会定例会について
(2) 大泉町学生（町外在住）支援事業の一部変更について
(3) 教育課程特例校における教育の実施状況の公表等及び報告に
ついて

その他

6 議事内容

柴崎教育長 これから教育委員会議を開会いたします。

はじめに、日程第1 前回は議録の承認について。

事前に配付させていただきました会議録について、何かご意見等ございませ
うでしょうか。

(意見なし)

ないようですので、8月18日の教育委員会議のご署名を、秩父委員さんと大塚委員さん
にお願いいたします。

続きまして、日程第2 附議事項に入りますが、本日の議案は、人事案件
になりますので、本日の附議事項の議案のみ秘密会とさせていただきます
がよろしいでしょうか。

(了承)

それでは、議案第31号 大泉町教育委員会事務局職員の人事について、
事務局より説明をお願いします。

(以下、秘密会)

それでは、秘密会はこれで終了いたします。

続きまして、日程 第3、教育長報告に入ります。

(1) 令和2年第4回大泉町議会定例会について、報告させていただきます。9月1日から16日まで開催されました。一般質問については、5名の議員さんからありまして、そのうち教育委員会への質問された方は3名でございました。詳細につきましては、大澤教育部長より説明いたさせます。

大澤部長 はい。

柴崎教育長 大澤教育部長。

大澤部長 それでは、私の方から詳細説明をさせていただきます。資料の2ページをお願いします。こども課所管となります、議案第47号大泉町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例についてでございますが、こちらにつきましては、8月18日の教育委員会議にて皆様にご承認いただいた議案でありまして、いわゆる第10次地方分権一括法の制定に伴い、子育て支援法の一部改正がなされ、項ずれが生じたことにより、その改正箇所を運用している条例の一部改正を提案いたしました。

続きまして、議案第51号令和2年度大泉町一般会計補正予算(第4号)についてでございますが、こちらにつきましては、歳入歳出予算にそれぞれ、6億3,918万1千円を追加し、総額181億9,628万1千円といたすものでございました。教育委員会の補正予算につきましては、こちらも教育委員会議で皆様にご決定いただいたとおり、ご承認いただきました。

続きまして、議案第56号令和元年度大泉町一般会計歳入歳出決算認定についてでございますが、一般会計につきましては、歳入総額132億6,305万9,059円、歳出総額128億117万2,836円。教育委員会の決算につきましては、歳入総額16億7,230万7,944円、歳出総額につきましては、36億7,071万7,165円をご承認いただきました。

続きまして、一般質問でございます。資料の4ページをお願いいたします。まず、佐藤久芳議員の件名1、未来を見据えた教育についてでございますが、まずは新たに就任いたしました柴崎教育長の教育方針と、教育に対する思いへのご質問でございました。教育長の答弁といたしましては、大泉町で育った子ども達が豊かに生きていくための資質や、能力を身につけ、生き生きと暮らし、そして大泉町から広く世界に発信できる人材の育成を目指したいとお答えいたしました。

また、教育から始める貧困対策への答弁では、教育委員会として児童生徒の貧困の現状認識を踏まえ、議員より施策提案がありました学校外教育パウチャー制度については、今後、調査研究していくこと。併せて学校教育、社会教育、子育て支援等、教育員会の各所管が連携・協力し、総力を挙げ

て貧困対策に取り組んでまいりますと答弁いたしました。

次に、渡邊明議員の件名2、町立図書館の運営についてでございますが、答弁といたしましては、新教育長として図書館の現状については一定の評価をしている一方で、入館者数や図書貸出し件数の減少や情報化社会への課題であると認識していること。民間委託については、国の実施基準に基づくとともに、町として図書館の将来像をより明確にした上で進めていくことが極めて重要であること。また、町立図書館は教育機関として町にとって必要不可欠な施設であることにつきましても、これまで以上にサービスの質を向上させ、より多くの方々にご利用いただけるよう民間力を活用し、更なる充実と発展を第一に考え、取り組んでまいりたいとお答えいたしました。

次に、堀越幸広議員の件名1、ウィズコロナへの対応についてでございますが、GIGAスクール構想による配備端末の活用についての答弁といたしましては、授業におけるICTの活用は1つの手段であり、児童生徒に確かな学力を身につけさせていくことが目的であること。また、1つの道具として当たり前に使えろという環境づくりが必要であること。

教員のICT活用指導力については、教員1人1人がICT活用指導力の向上の必要性を認識し、自ら研鑽を深めることが必要不可欠であること。また、家庭の通信環境整備については、教育環境整備のマイナス格差を生じさせないという考えのもと、事業計画を進めており、生活困窮の理由により、整備が困難なご家庭に対し、対応策を検討してまいりたいと答弁いたしました。以上、議会定例会の報告とさせていただきます。

柴崎教育長 報告が終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたします。

大塚委員 はい。

柴崎教育長 はい、大塚委員さん。

大塚委員 一般質問のなかで学習指導員についてふれていましたが、県の指導員の募集の応募状況と、もし採用になっているのであれば県内の小中学校の配置状況について教えていただければと思います。

竹田課長 はい。

柴崎教育長 竹田教育指導課長。

竹田課長 学習指導員は、群馬県教育委員会の東部教育事務所から、学校の現状、教員の学習指導補助、学校内の様々な業務を助けていただけるような学習指導員を配置していくということが予算で決まって、各市町村に配置に向けてのお話がありました。町内7校ございますが、すべてではありませんがほとんど配置できておりますので、配置できていない学校への人探しをしているところです。県内の様子についても、東部教育事務所のお話では、全県の8割くらいが配置できているということでございます。

大塚委員 各校どのくらいの数ですか。

竹田課長 各校1名で、学校によっては若干多く配置できることになっております。

大塚委員 ありがとうございます。

柴崎教育長 ほかにいかがでしょうか。

(なし)

ないようですので、次の報告に進みます。

(2) 大泉町学生(町外在住)支援金交付要綱の一部改正について、お願いします。

千吉良課長 それでは、(2) 大泉町学生(町外在住)支援金交付要綱の一部改正について、報告させていただきます。資料の6ページをお願いします。

本施策につきましては、大泉町新型コロナウイルス感染症対策の生活支援パッケージとして、令和2年6月9日より申請を開始し、運用してまいりました町外在住の学生支援でございます。

当初、中学生から大学生、予備校生も含め対象としておりましたが、大学院生も同様な状況下に置かれていたことも考慮いたしまして、新たに大学院生も対象とし、また未申請者への対応も含め、申請期間を令和2年11月30日まで延長することにより、当該事業の拡充を図るものでございます。

なお、新たに対象といたします大学院生につきましては、要件等全ての確認事項を今までの申請者との公平を保つため、遡及適用いたします。

年齢も大学院生、修士課程、博士課程を含めまして30歳の年齢まで対象とさせていただきます。

周知方法といたしまして、10月10日号で周知をし、町のホームページを始め、町内金融機関、郵便局等の各協力機関においてパンフレット等を置かせていただき、周知漏れの無いよう対応してまいります。

既存の施策でございますが、新たに大学院生を同じ要件で対象といたしまして加えること、また、申請期間を8月31日から11月30日まで延長したことにより施策の拡充を図るものでございます。以上、報告とさせていただきます。

柴崎教育長 報告が終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたします。

(なし)

よろしいでしょうか。

千吉良課長 はい。

柴崎教育長 千吉良教育管理課長。

千吉良課長 補足説明をさせていただきたいと思います。

9月18日の申請状況でございますが、合計213名の申請がございました。内訳ですが、大学院生が5名、大学・短大生が194名、予備校生が1名、専門学校生が8名、高等学校が5名となっております。以上、補足説明とさせていただきます。

柴崎教育長 よろしいでしょうか。

それでは、次の報告へ進みます。(3) 教育課程特例校における教育の実施状況の公表等及び報告について、お願いします。

竹田課長 はい。

柴崎教育長 竹田教育指導課長。

竹田課長 それでは、(3) 教育課程特例校における教育の実施状況の公表等及び報告について、ご報告させていただきます。本町の小学校で以前から継続しているものではございますが、昨年度、教育課程特例校として、1年生から6年生が英語科の授業を実施しました。教育課程特例校の申請といたしましては、昨年度の申請が前回の申請の最終年度の申請でした。昨年度の8月頃、令和2年度からの新たな申請を行い、本年度実施しております。前回の申請期間までは、特例校申請期間の最終年度に町教育委員会から詳細な報告を文部科学省へ提出するというかたちの報告となっておりますが、今回の新たな期間の特例校申請を行った際、報告等の方法が変更になりました。資料の7ページをお願いします。説明文にも記載させていただきましたが、その下の太枠の中に文部科学省の事務連絡がございまして、令和元年度の報告等について、太字の1. 教育課程特例校における自己評価及び公表、2. 管理期間による把握・検証及び公表を実施することとされております。詳細説明は下の矢印の1、2になります。1の教育課程特例校による自己評価及び公表の各小学校においては、四角の枠3つ、教職員のアンケートや学校の自己評価。また、児童や保護者のアンケートや学校関係者の評価などを通して各学校での学校だよりやホームページ等での公表をすること。2の管理機関による把握・検証及び公表ということは、町教育委員会や東部教育事務所指導主事の学校訪問指導等で教育課程特例校の取組がどのように行われているかを把握し、検証・確認して公表していく。そして、ホームページ等を効果的に活用して公表していくとなっておりますので、ホームページ等を活用してまいります。これらのことによりまして、各小学校での自己評価を、8ページから15ページに記載しております。管理機関である、町教育委員会の把握・検証等については、資料の16、17ページに記載させていただき、内容については町のホームページで公表を行ってまいります。このようなかたちで、教育課程特例校を申請している市町村は、すべて本町同様の報告を行っていくものであります。なお、子ども達へのアンケートをとらなければなりませんでした。令和元年度の最終学期の3月が臨時休校になってしまいましたので、子ども達のアンケートがとれず、検証や確認が進まなかったため、今頃の公表となってしまいました。以上でございます。

柴崎教育長 特例校の実施結果の報告でした。質問等ございましたらお願いします。

福田委員 はい。

柴崎教育長 福田委員さん。

福田委員 特例校というのは、ずっと前から大泉町は外国語教育を推進するということで実施してきたと思いますが、これからも継続されるものなのでしょうか。

竹田課長 はい。

柴崎教育長 竹田教育指導課長。

竹田課長 現在、新しい教育指導要領となりまして、小学校の3、4年生が外国語活動として、英語の授業を行います。5、6年生は週2時間外国語科というものがああります。1、2年生は学習指導要領に英語の授業はないのですが、本町

は以前から教育課程特例校でずっとやってきて、1、2年生も継続して英語の授業を実施していくということで、特例校の申請をしているということでございます。継続して、昨年の8月に申請いたしましたので、文部科学省が学習指導要領で1、2年生が英語の授業となるまで申請し続ける方向で考えております。

柴崎教育長 よろしいでしょうか。ほかにいかがでしょうか。

(なし)

ないようですので、日程4 その他に進みたいと思います。

委員さん、何かございますでしょうか。

秩父委員 はい。

柴崎教育長 秩父委員さん。

秩父委員 町立図書館は今、施設修繕をされていますが、指定管理者制度への計画面での進捗状況はどのようになっていますか。

村田課長 はい。

柴崎教育長 村田生涯学習課長

村田課長 町立図書館の指定管理者制度につきましては、令和4年度の指定管理者導入にむけて事務を進めているところでございます。今後、町の財政状況も含め、変更等もあると思いますので、変更等ございましたら、委員の皆様にお知らせをして勧めていきたいと考えております。施設の改修につきましては、外壁の改修工事とエレベーターの更新工事がございます。こちらにつきましては、予算の関係がございますので、なるべく早めに改修をして、改修後に指定管理者に施設の管理運営をお願いしたいと考えております。

秩父委員 分かりました。

柴崎教育長 事務局から何かありますか。

千吉良課長 はい。

柴崎教育長 千吉良教育管理課長。

千吉良課長 私の方からGIGAスクール構想の進捗状況をご報告させていただきます。群馬県から明日、9月25日付けでソフトウェアに関する説明会を実施するという通知がきております。関係する市町村の担当職員が県庁に参集いたしまして、ソフトウェアに関する説明と本町で導入を予定しておりますが、Google使用の教育ソフトについてや契約に関する諸事項について説明がございます。このようなかたちで随時説明会が県で開催されてまいります。また、先程議会の報告でもございましたが、9月の定例会で補正予算が可決されました、GIGAスクール構想に基づく事業費用、約3億5千万円が可決されたということで、県へ端末調達につきまして、共同調達の申し入れをする予定でございます。その後、12月の定例会を目途に事業者との契約事務を進めて、本契約を行い、その後速やかに端末配備と進めてまいります。現在の状況を申し上げますと、7月末までに予算化を完了した市町村、県内合計11市町村ございますが、OSを二種類利用する市町村がありますので、実質は10市町村になる予定でございます。台数につき

ましては、約51,400台を第一期の共同調達として県が対応しているのが現状です、本町につきましては、第二期の共同調達に募集しておりますので、今後10月中に県の報告により、対応業者を公募していただく手順となっております。県内35市町村ございますので、残りの25市町村が県の共同調達の第二期に合わせて進めている予定でございます。9月の予算化、それ以降の調達準備の開始と、同じようなタイミングで事務手続きが進んでいく予定でございます。今後も随時、進捗状況を報告させていただきます。以上でございます。

柴崎教育長 ご質問等ございますでしょうか。

秩父委員 はい。

柴崎教育長 秩父委員さん。

秩父委員 今の件について、近隣の自治体などとOSについて話し合っているのですか。

千吉良課長 はい。

柴崎教育長 千吉良教育管理課長。

千吉良課長 OSにつきましては、県のほうでアンケートをとりまして、邑楽郡内に聞き取りを行ったところ、全てがグーグルの使用のみということでございます。iPad仕様又はWindows仕様もありますけれども、35市町村中半数以上がグーグル仕様を使うような情報がございます。

福田委員 アンドロイドですか。

千吉良課長 アンドロイドでございます。

秩父委員 それに伴って、今後GIGAスクール構想が進む中で、前からお話ししているように、補助教材をタブレット化することによって、低学年の荷物も少なくなり、重量の軽減についても出来ればと思っていますので、そういったことも考慮していただければと思います。

福田委員 端末をどうやって使用していくのか、もう少し教えていただければと思います。例えば、教科書に即したもののなのか、授業に即したもののなのか。また、タブレットのインチサイズや買い取りなのか、リースなのかも教えていただきたい。

千吉良課長 はい。

柴崎教育長 千吉良教育管理課長。

千吉良課長 タブレットは買い取りでございます。リースとなりますと、調達業者との同時契約という特殊な契約形態が国のほうで示されてまして、通常の買い取りでの調達よりも期間が長くなるということで、利用する市町村が少ないということをお伺っております。また、タブレットサイズは11.5から12インチ位のサイズになると思います。ソフト等につきましては、現在の予算化の段階では、通常国の使用に基づいてインストールされているもの、また県推奨のソフトウェアがインストールされた内容のものとなっております。補助教材等につきましては、予算がかかってまいります、今回は予算に計上しておりません。

福田委員 教科書は入っていないのでしょうか。

千吉良課長 教科書は入っておりません。

大塚委員 持ち帰らずに学校で保管するということですよ。

千吉良課長 現在の使用の仕方は、学校で活用し、ネットワーク工事と同時保管庫も整備いたしますので、学校で保管いたします。今後、不測の事態ということもありますが、今のところ学校での通常使用と保管となります。

大塚委員 分かりました。

福田委員 学校の先生もどうやって使用していくのかと不安に思っていると思いますので、先生に対するフォローもやらないと上手くいかないと思います。

柴崎教育長 ほかにいかがでしょうか。

竹田課長 1件ご報告させていただきたいと思います。明日の9月25日金曜日、町長と外国籍の中学生と、一部の高校生との話し合いの機会を設けることになりまして、明日の16時30分を予定しております。町内3中学校から各2名程度、また町内中学校を卒業した高校生1から2名程度の全10名程度で町長との懇談会が予定されております。懇談会の趣旨につきましては、本町の新型コロナウイルス感染症が収束しておらず、外国籍の方につきましては、新型コロナウイルス感染症防止の啓発活動が、言葉で上手く伝わっていないのではないか、ということもございまして、外国籍の方への対策の周知について更に徹底したいということで生徒達からの防止について発信して欲しいということが懇談の趣旨でございます。その内容を、町の広報情報課で編集いたしまして、ユーチューブでの配信も考えております。生徒の保護者にも許可をいただいております。以上でございます。

柴崎教育長 よろしいでしょうか。

千吉良課長 はい。

柴崎教育長 千吉良教育管理課長。

千吉良課長 郡教育委員会連絡協議会の視察研修についてでございますが、例年11月に一泊研修で実施しておりますが、今年度大泉町が事務局となっておりますが、前年の事務局と引き継ぎが完了しておりませんので、前年度の決算や、新年度の予算等についての総会が済んでおりません。今後速やかに事務の引き継ぎを行い、視察研修についても検討していかなければなりません。全国的な新型コロナウイルス感染症の拡大や、本町も緊急事態宣言が出されていますことでもありますので、この状況では実施はなかなか難しいと思われませんが、視察研修の実施について委員の皆様からのご意見をいただければと思っております。よろしく申し上げます。

柴崎教育長 郡の教育委員さんの視察研修でございますが、いかがでしょうか。

秩父委員 私の所属している会も、全く実施していませんし、仕方が無いと思います。

柴崎教育長 中止ということで、郡内の教育委員会に提案していきたいと思っております。ほかにどうですか。

(なし)

それでは、ないようですので、以上で教育委員会議を終了いたします。

上記会議録は、正確であると認めます。

令和2年10月26日

署名 教育長

署名 教育委員

署名 教育委員